

平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査

～町立小・中学校の結果の概要～

この調査の目的は、全国小学6年生、中学3年生の児童生徒の学力・学習状況等を把握し、課題の検証を通して改善にいかすためのものです。

1. 調査結果の取り扱いについて

- (1) この調査は、序列化や競争を目的とするものではありません。
- (2) この調査で測定できる学力は、特定の一部であり、学校の教育活動の一側面です。

2. 小・中学校の調査結果の概要

【学力に関して】

(1) 小学校

国語、算数ともに、全国平均を上回りました。

国語では、言語についての知識・理解・技能を問う問題で正答率が低くなっていますが、書く能力や読む能力は全国を上回りました。

算数では、図形の領域で正答率が全国に比べ低くなっていますが、数学的な考えや記述式の問題で全国を上回っています。

(2) 中学校

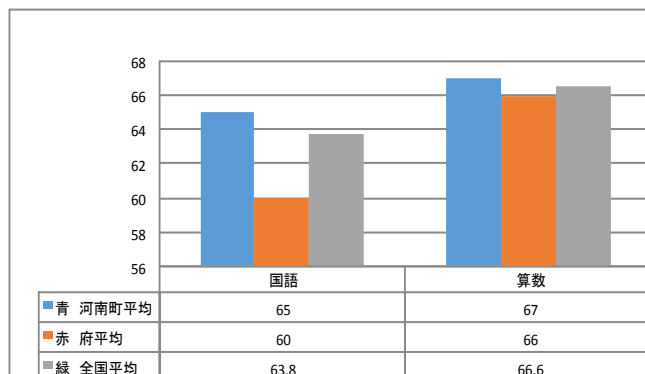
町内1校のため平均正答率の数値は公表しません。

結果概要については、国語は府の平均を上回り、数学・英語は府・全国を上回る結果となりました。

特に、国語では、言語についての知識・理解・技能が、数学では数量や図形などについての知識・理解の正答率が高くなっています。英語では、読むこと、書くことの領域で全国平均を上回りました。

※基礎・基本を大切にしつつ、活用する力を付けていく授業に取り組んでいきます。

平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査小学校



【学習状況に関して】

児童・生徒アンケートの結果は、府・全国全体概要とほぼ同様の傾向でした。以下に示すものは、町として大切にしていきたい点です。

- ・「授業内容がよくわかる」との回答が、小学校（国）で約9割、（算）で8割以上、中学校（国）で7割以上、（数）で約9割、（英）で約8割ありました。「もっとわかりたい」という思いに十分応えていく授業をさらに目指します。
- ・「学校のきまり・規則を守る」との回答が、小学校、中学校で9割をこえています。今後も大切にしていきます。
- ・「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う」との回答が小学校・中学校ともに全国を上回りました。今後も主体的・対話的で深い学びを実現する授業に取り組んでいきます。
- ・「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれている」との回答が、小・中学校ともに9割をこえていて、全国平均を上回っています。今後も丁寧な指導を大切にしていきます。

3. 課題解決のために

- ・基礎・基本と大切にしつつ、子どもたちの興味・関心が高まる、魅力のある授業に取り組みます。
- ・読解力をはじめ、ことばの力を高められる授業に取り組みます。
- ・授業規律をはじめ、学校生活における規範意識をさらに高めるよう努めます。

※日々の教育活動実施にあたり、今後とも保護者、地域の方々のご理解・ご協力をいただきながら取り組んでいきます。

担当課：河南町教育委員会事務局 教・育部 教育課学校教育係